

小網代の森で  
「流域思考」  
による  
温暖化豪雨時代の  
防災を考える

---

NPO法人

小網代野外活動調整会議





小網代の森で「流域思考」に基づいた生物多様性の創出と自然環境保全維持管理作業の実施





小網代の森で  
度々起こる  
大雨による  
水土砂災害や  
台風による  
倒木の被害





## 三浦市は谷戸地形

→小網代の森と同じように  
流域(地形)で防災を考えることが必要  
な地域

・・・でも

・ごく一部の人がロケットストーブなどのイベントを年に一度程度やっているだけで、自分事としての防災の取り組みがほとんどない。防災と言っても何をすればいいのか分かっていない。

・・・そこで

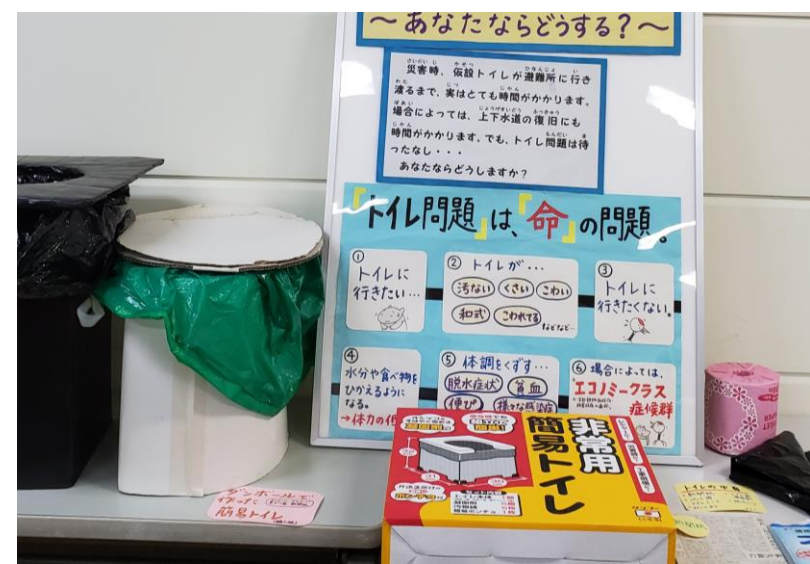
まず、防災を身近に感じてもらえるイベントを実施



# 防災ポーチを作ろう

2019/9/7・8

- 「持ち歩く防災」「0次避難」という考え方を学び、家族と離れているときに被災したらどうするかを子どもたちにも考えてもらいました。
- 日ごろから自分の家の周りの地形や、避難場所の確認をしておくことの重要性を考えました。
- 災害時のトイレ問題や、けがや骨折の応急手当の仕方、新聞紙で作るスリッパなどの体験もしました。





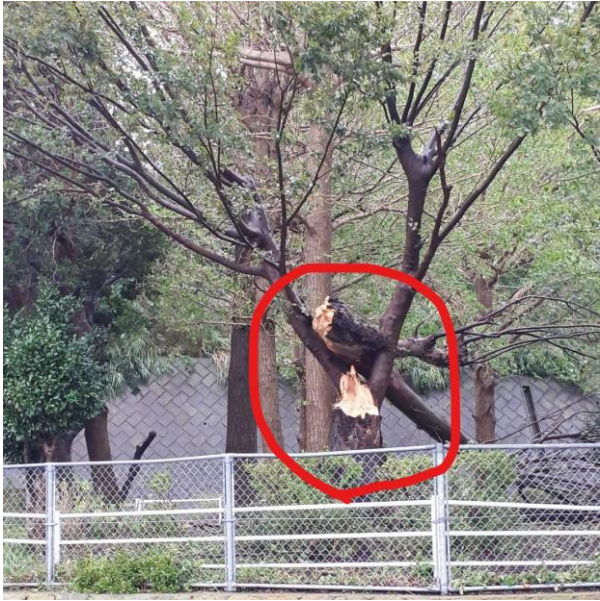
## 2日で100人を超える参加者！！

- ・防災ポーチを知らなかった。家に帰ったら必要なものを足して完成させバッグに入れておきます。
- ・自分の家の周りを散歩して確認しておきます。
- ・おじいちゃんとおばちゃんにスリッパを作ってあげたいです。
- ・骨折した人を助けてあげたいです。
- ・地震のことだけ考えればいいのではないとわかりました。
- ・避難場所を家族で確認します。

・・・たくさんの感想をいただきました。

このイベントのほかに地域の店舗で2回防災ポーチを作ろうのミニ講習会を実施  
→近隣の方々や町内会のみなさんが参加  
防災を自分のこととして考えるきっかけ作りが出来た





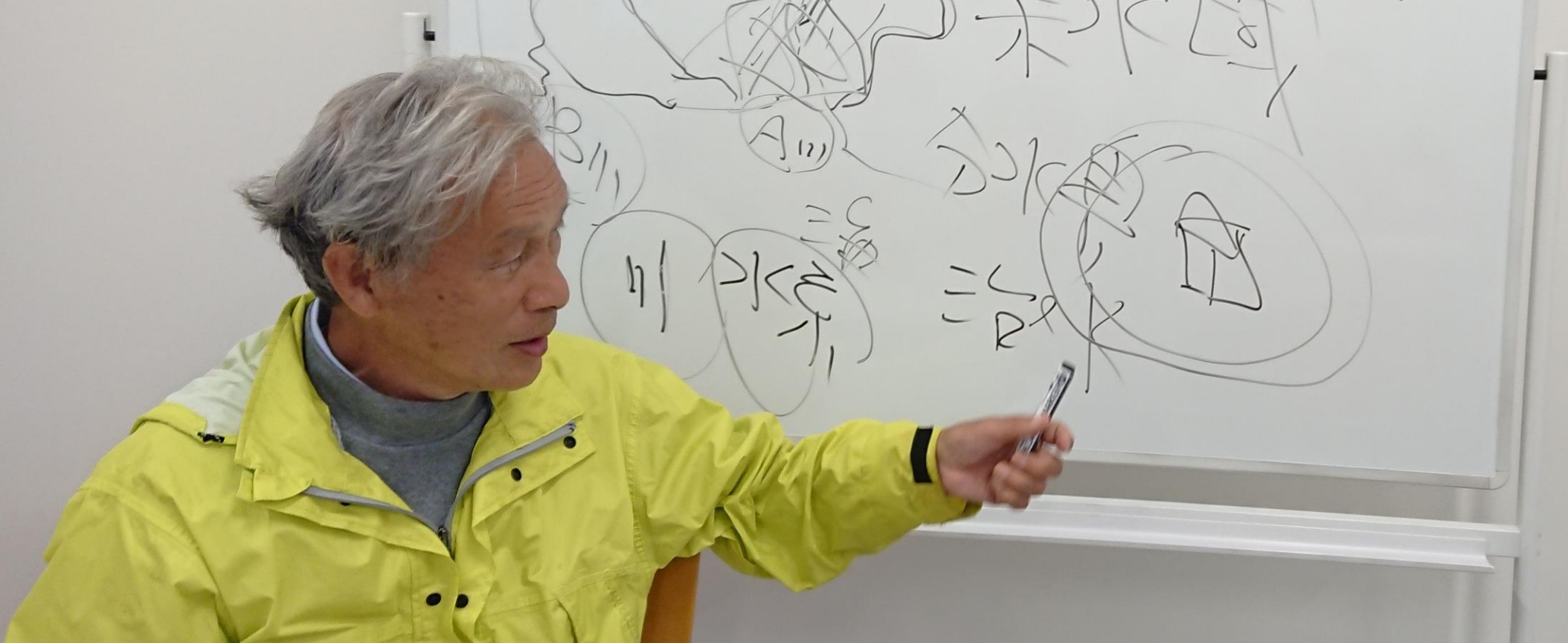
翌週台風15号が三浦市を襲いました！





## 小網代の森の被害





市民勉強会：三浦市における水防災を考える

2019/10/20

- 流域の定義や三浦市の地形の説明
- 大雨が降ったらどこにどんなことが起きるのかを過去の事例も含め解説
- 三浦市内での事例を深く掘り下げ、どの地域にどんな被害が出るかを想定し意見交換
- 講師への質疑応答

参加者28名





講演会：小網代の森と流域で考える温暖化豪雨時代の水防災 2019/11/17

- 流域とは何か 温暖化で雨はどのように変わっているのか
- 水土砂災害が起こりやすい地形は？
- 流域で防災を考えるとはどういうことか

これからの大雨や洪水にどのように備えるかをしっかりと考える機会になった

参加者48名



# 今年度の成果と感想

- 「防災ポーチを作ろう」「市民勉強会」「講演会」計6回の実施に対し合わせて200名を超える市民の参加があり、市民の防災意識を高めることに貢献できた。
- 「防災ポーチを作ろう」のイベント後に大きな台風被害を受けたこともあり、その後の勉強会、講演会にイベント参加者が多数参加してくれた。イベントで防災に関心を持ってもらい勉強会や講演会に参加するという流れを作ることが出来た。
- 町内会として防災に関心を持ち、イベントに参加して下さったことで、地域とのつながりを持つことが出来た。



# 今年度の反省と課題

- 小網代の森が4か月以上にわたり通行禁止になってしまったため、秋に予定していた防災ウォークが実施できなかった。
- 流域で防災を考えるという勉強会や講演会は大人に向けたものになってしまった。イベントだけでなく子どもたちに分かりやすい勉強会の実施などを考えたい。
- 今年度の活動をどのように発展・継続させるか考えたい。
- 地域とのつながりをより一層深めていきたい。



# 一年間の活動支援 ありがとうございました

